

式辞

第五十五回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。
今日の良き日、保護者の皆様の同席のもと、愛国学園理事長
の織田奈美先生、学園本部の来賓の方々とともに、みなさん
の門出をお祝いできることをとてもうれしく思います。

卒業は新しいスタートの始まりです。第五十五回生の皆
さんの新しい歩みが、桜の園である龍ヶ崎の学園から始ま
ることを教職員一同心からお祝い申し上げます。

卒業生の皆さんは、一年生の二月頃から始まった新型コ
ロナウイルスのパンデミックの影響を受けながら高校生活
を送ることになりました。これまで経験したことがない不
安と不自由の中で自分の未来を創る学びを続けて行くこと
はとても大変だったと思います。臨時休校が続いたり、学
年行事・学校行事も変更や中止を余儀なくされ、予定通り
に計画が進まないという常に不確実性が伴うとても不安定
な学校生活でしたが、皆さんは明るい笑顔を忘れずに前向
きに取り組んできました。

現在のような厳しい社会状況の中でも大切なことは、悪

いことや嫌なことに心を奪われないで、何か少しでも良いと思うことを見つけようとする前向きな意志を持ち続けることだと思います。つまり、ピンチをチャンスに変える視点を持つことが今まで以上に大切になっているのではないのでしょうか。

三学期の始業式の日、新年の抱負や決意を皆さんに提出してもらいました。その中のいくつかを紹介します。

「卒業したら人に頼らず一人で何でもできるようになりたい」「自分がやると決めたことをあきらめずに最後までやる」「自分の夢や目標を持ち、そこにたどり着くまで何事にも挑戦する」など、とても前向きな強い意志を感じました。

皆さんは、本校のコース制の第一回卒業生でもあります。2年間のコースでの学びを終え、その先にあるそれぞれの道を歩み続けることになります。

先日の保育福祉コースの卒業研究発表会では、「CT」を活用したプレゼンやオリジナルの絵本による読み聞かせや民話をエプロンシアターで発表するなど、それぞれユニーク

で聞き手を魅了するものであり、愛国学園で習得した知識と技術を活かして、新しい未知の世界に挑戦する力が十分にあることを証明した発表会でした。

最後に、コース制からそれぞれのネクストステージに進む皆さんには、これからも愛国学園龍ヶ崎高校の教えである「親切正直」の校訓、毎日復唱した「生活自戒」、そしてモットーの「いつでも誰でも主人公」の三つを誇りとして持ち続けてもらいたいと強く願っています。これからの人生の中で、困ったときや苦しい時こそその3つは、きっと小さな光となって皆さんの進むべき道を照らしてくれると信じています。

皆さんの前途を祝して式辞とします。

令和四年三月五日

愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校長 倉持

正男